



A君



ロジム小学校のサッカーチームとしあいをしたことはあるかい。

ああ、そうとう強いね。これまでまったく勝ててないよ。



B君

A君



なんだ、B君のチームは毎回負けているのか。それは大変だね。

??? うん? なにかA君のいっていることがおかしいと思うんだけど・・・。



C君

人から聞いたことや本・出来事などから知ったことをまとめて、自分の考えたことを「^{けつろん}結論」と言います。A君が「B君のチームは毎回負けている。それは大変だ。」と結論を言ったのにたいして、C君はなっとくできていません。それはなぜですか。正しいものを選びなさい。

- ア. まったく勝てていないというのは、少しは勝てるということだと考えたから。
- イ. B君のチームとロジム小学校のサッカーチームのしあいには引き分けもあると考えたから。
- ウ. まったく勝てないようなチームはないと思っているから。
- エ. じつはB君のチームとロジム小学校のサッカーチームはしあいをしていないと考えたから。



**ロジカル
シンキング**

(解答) イ

(解説)

「勝ち」と「負け」しかない場合、もし「勝ち」でなければ、「負け」であると決めることができます。しかし、「引き分け」があったときは、「勝ち」でもなく「引き分け」でもないとわかってはじめて、「負け」であるといえます。

何かを決めるときは、できるだけすべての「ありうること」を考えるよう注意します。

「B君のチームが勝てていない」からと言って、「すべて負けている」とは言いきれません。

にちじょう生活の中では、この問題のように、あるせつめいが「ありうること」を見落として話されている場合があります。それによって、話がわからなくなったり、なっとくできなかつたりすることも出てきます。ですから、ある話の中に、見落としていることがないか、に気づくことはとても大切です。

Aは「まったく勝ててない」ということは「勝ちが1つもなし」ということです。「少しは勝てる」ということにはなりませんから、C君がなっとくできない理由にはなりませんね。

ウやエもB君が「これまでまったく勝てていない」と言っていて、C君は、それをもとにA君の結論がおかしいと言っているのですから、C君がなっとくできない理由にはなりません。

